



滋賀銀行 常務取締役

奥博

先日、辻井伸行氏のピアノ協奏曲を聴く機会に恵まれました。辻井氏は、生まれつき視覚障がいがありながら、国際的に活躍されている著名なピアニストです。コンサートチケットの入手が難しいほどの人気と聞き、非常に興味を抱いての鑑賞だったのですが、その演奏はととても気迫があり、また、楽しそうに演奏されている姿は、観客の心を

揺り動かし、障がいを全く感じさせませんでした。

鑑賞後、もっと深く辻井氏を知りたくなり、お母様の辻井いつ子氏の著書を手に取りました。生後8カ月頃、まだハイハイはおろか寝返りすら満足に打てない幼児の「音楽」に対する才能にいつ子氏が気づき、眠っている才能を少しずつ^{ひら}拓いていこうと決意されたことや、指揮者佐渡裕氏はじめ多くの先生方との出会いなどの幸運もあったようですが、何よりもご本人の火の出るような努力と、どんな状況でも絶対に諦めない前向きな精神があつてのことと知りました。著書を読みながら、「パラリンピックの父」と称される医師ルー

自立

トヴィヒ・グットマンの名言である「失ったものを数えるな、残されたものを最大限に活かせ」との言葉を思い出した次第です。

私どもの「しがぎん福祉基金」では、すべてを税金に頼る従来の福祉から脱却するという気概で地域福祉の向上を願い、滋賀県内で展開される実験的・開拓的な取り組みに対して幅広く助成を行ってきました。1984年の設立以来、助成累計は428件、総額3億2,003万円になります。また、助成先の取り組みを季刊誌「湖」でもご紹介しています。活動内容が地域で広く理解され、障がい者や助成先の皆さんが力を合わせて自立される一助になればと願ってやみません。

県内データ あれこれ

「外国人雇用状況」の届出状況のまとめより

外国人労働者数、雇用事業所数とも2年ぶりの増加

少子高齢化が進む中、さまざまな人材の活躍に期待

2014年1月に滋賀労働局より発表された「外国人雇用状況」の届出状況のまとめによると、13年10月末現在の滋賀県の外国人労働者数は11,285人で前年同期(10,882人)から3.7%の増加となった。また、外国人労働者を雇用している事業所は1,245事業所で、前年同期(1,171事業所)より6.3%の増加となり、経済状況の好転などを受けてか、労働者数、事業所数ともに2年ぶりに増加に転じた。産業別にみると、製造業が最も多く、外国人労働者を雇用する事業所数の49.9%、外国人労働者数の64.5%を占め、全国(事業所数27.6%、労働者数36.6%)を大きく上回った。

急速に進む少子高齢化により、将来的

に深刻な労働力不足が起きることが予想される。その対策として、政府は今年6月の新成長戦略に「女性の活躍推進のための社会基盤整備」「高齢者の活躍推進の

ための基盤整備」「外国人材の受入環境の整備」などを織り込むことを検討している。今後、県内企業でも、女性や高齢者、外国人などさまざまな人材が活躍することで、地域経済の活性化につながっていくことを期待したい。

(株)しがぎん経済文化センター 上村 彰吾

滋賀県の外国人労働者数と外国人労働者を雇用している事業所の推移

